

マイプロジェクト
自分の「学びたい」
「わくわく」を
大切に

関東信越税理士会 佐久支部長賞 浅間中学校2年



情報の収集

- 明石市の政策で一番いいと思うのが、遊び場の利用料無料。外で遊ぶことによって、考えをもったり、価値観をつくったりするから。
- 給食費の無料もいいことだと思う。新潟に以前いたが、そのときも無料でよかった。

整理・分析

- 日本は税金が無駄に使われることが多いのではないかな。
- 選挙に受かるように、あまりいらぬようなところに税金が使われているかもしれない。
- 教育に税金をもっと向けると、解決する問題もあるのではないかな。

課題の設定

- 今、2人で1人の高齢者を支えている。今後どうなるか。
- 母が改善している市町村を紹介してくれた。これなら書きたいことが書ける。



まとめ・表現

- このような政策が日本でも行えるように、しっかり知っていきいたいし、伝えていきいたい。
- 消費税はもう少し下げて欲しいが、よく分からない。これからは税について学んでいく。

税金の使い方 (少子高齢化)

浅間中学校2年

私たちの身の回りには、税金で支えられている物がたくさんあります。ですが、僕は、税金で支えられていない(支えきれない)問題に着目しました。

たとえば、「少子高齢化」という問題です。この問題は、日本全体の高齢者の割合より若者の割合の方が小さくなってしまい、主に日本の人口や税金で集められるお金(税金)や出生率などが下がってしまふことで起こります。それにより、日本の経済が不安定になり、二五十年には人口が一億人以下になってしまふ問題です。

それ以外にも、「少子高齢化」にはたくさんさんのデメリットがあります。この「少子高齢化問題」を解決する方法はないのかと、僕は調べてみることにしました。

すると、兵庫県明石市では、「少子高齢化問題」に対する対策を、二十一年前から始め、いろいろな問題を解決しているということを知りました。その兵庫県明石市が行った主な政策は、どのような政策だったのでしょうか。

^五つの無料化^

- ・ 高校生(18歳)までの医療費、無料
 - ・ 中学校の給食費、無料
 - ・ 第二子以降、全員保育料、無料
 - ・ 遊び場の利用料、親子共に、無料
 - ・ おむつが満一歳まで、無料
- (すべて、自己負担と所得制限なし)

このことにより、街の親子が特に住みやすくなり、子どもを作りたいという人が移住してきて、街で子どもを産んだことにより出生率や人口が増え、税収も八年前より三十二億円も増えました。それ以外にも、市民からの信頼も一緒につかむことができたことにより、「まちづくり市民意識調査」の住みやすさという項目で、五年前は83.0%だったのが、現在では91.2%までアップさせることができました。この政策により、明石市の人口はもっと増えるかと予測されています。

兵庫県明石市の成功例をもとに、日本が「少子高齢化」を脱出してほしい。そのために、僕は、この兵庫県明石市市長のような大胆な政策が全国に広まり、それをきっかけに、日本の人口や税収が増え、次の時代を担う子供たちに、かっこよくバトンをわたせる! そんな日本になって欲しいと思っています。